

令和4年度 第1回 清和小学校 学校運営協議会 実施報告書

出席者 委員8名（1名欠席）、アドバイザー、事務局（教頭）

1 日 時 令和4年5月27日（金）15：30～16：45

2 場 所 鈴鹿市立清和小学校 図書室

3 挨 拶 学校長：・2か月たち学校生活にも慣れてきて、その子らしさが出てきている。トラブルが起こりながらも力をつけてきている。
・教育活動を止めないよう、できるだけリスクの少ない環境を確保していきたい。リコーダーや鍵盤ハーモニカ、調理実習等についても、少しずつ入れていきたい。
委員長：公民館長＝委員長ということは知ってはいたが、委員長ということで責任の重さを感じている。公民館もコロナの影響で、活動が制限されていたが、できるだけ行事は実施していこうと考えている。

4 協議内容

（1）令和4年度学校教育について

①学校経営の改革方針

- ・360時間を超える時間外労働について、一般の企業では36協定にもあるように労働基準法に違反しないように定期的な改善が必要ではないか？
→実態を把握して改善を求めていかないといけないと考えている。

②学校配当予算の報告

③いじめ防止基本方針について

- ・本校のいじめの実態はどうか。
→現段階ではない。からかいやふざけているように見えても、本人が不快に感じたものはいじめであるので、慎重に対応していきたい。学校運営協議会の委員も、いじめ防止対策委員会のメンバーの一員なので、ケースによってはご協力いただく。
- ・普段の子どもの様子を見て、いじめと気づくことがあったら伝えていった方がよいのか、慎重に対応していった方がよいのか。
→見たり聞いたりして、いじめと感じたときは周知していただきたい。
- ・学校へ登校できていない子は何人ぐらいいるのか？原因は何か。
→4人ぐらいいる。いじめとかではなく、家庭の事情によるものが大きい。
- ・常時、集合場所に集まらず、集団登校しない子がいるのが心配である。登校できない児童は低学年が多いのか。
→登校できることを一番に考えており、送迎してもらったり一緒に保護者と歩いたり等々である。低学年に限らず高学年もいる。

(2) 地域連携の取り組み

①古紙回収及びアルミ缶の回収について

研修会や児童の保険等に活用できた。本年度も続けて取り組んでいきたい。

②安全安心の取り組み

校区の危険箇所

- ・五丁目 12 番の焼き鳥や付近に横断歩道の要望を自治会でも出しているが、退避場所がないという点で許可が出ないため、自転車の横断等ができずに危険である。
- ・三日市で不審者が出たときには立ったほうがよいのか。
→学校としてはお願いできると助かる。不審者等が出た場合は、メール配信等でお伝えするので、協力いただきたい。

③家庭におけるゲーム・スマホ時間の減少のために

- ・本校の 3 時間以上のテレビゲームをしている割合がかなり高い。
- ・中学校区全体でもノーメディア day について考えていく。
- ・家庭では一人 1 台パソコンの影響があるのではないかな。
→昨年度の調査の段階では持ち帰りはなかったもので、その影響はないと思われる。
- ・グループでオンラインゲーム等をやっていることの影響があるのではないかな。ただ、取り組みとして、やらないことを徹底する前に、就寝時間を決めたり家の人の前でやったりする等ルールを決めることが大切でないかな。
- ・スマートフォン（自分専用）の所持率はどうなっているか。
→実態把握等ができるように調査していきたい。

4 アドバイザーより

- ・学校も公民館の行事のように日常的に戻していきたい。
コロナがどのようなものかわかってきた。重症化はしていないので、対策をしてできる限りしていこうという方向性をもってほしい。修学旅行も県外実施が増えてきているように以前のように戻ってきている。
- ・コロナの影響で、ここ 2 年間は学校支援ボランティアを閉じてしまっていた学校もある。鈴鹿市は学校を支援する活の基盤がある。そこを大切に活用してほしい。
- ・中学校校区の学校運営協議会開催予定があるが、中学校区全体で取り組んでいけることは大切にしてほしい。
- ・地域教材を活用してほしい。
戦争遺跡や前川定五郎、三日市の祭り等、地域教材を発掘していけるとよい。